

一般質問



藤原 正則 議員 (み・無)

区長の3期目の抱負について

濱野区長は3期目スタートとなるが、2期8年の実績を重ね、更なる気概と抱負は。

区長 4月に改訂した長期基本計画の着実な実現が大きな使命の1つと考えている。

防災について

災害対策基本条例制定後の取り組みは。2スタンバイは、実際の火災現場で有効に使えるのか。3各地区の防災訓練について7参加人数の推移は。1課題等は。4区の職員が居住地の消防団に加...

防災まちづくり事業部長

1条例の概要版を作成し、様々な機会を捉えて周知した。2有効だと考える。37平成21年度から1会場あたり毎年100人前後の増加傾向で、25年度は約1千500人だ。1若い親世代等の参加促進だ。4勤務地団員を含めて5名だ。57...

難所等は今後進めていく。

待機児童対策と今後の保育等の施策展開について

子ども・子育て支援新制度がスタートしようとしているが7条例その他の状況は。1事業者や保護者への周知は。2私立幼稚園の新制度への移行状況は。3既存園のことも園化などは。4待機児童対策...

子ども未来事業部長 17 第2回定例会で小規模保育事業等の基準条例等を議決いただいた。本定例会では子ども認定などの条例を上程予定だ。1施設長に説明するとともに、在籍園児の保護者へパンフレット等を配布している。24園は27年度中の移行を検討中、9園は28年度以降も予定なし等の回答だ。327年度には、区立保育園1園、私立保育園2園が保育所型認定子ども園へ移行を希望している。27出生数と入園申し込み率の上昇が続いているためだ。

高齢者対策について

1特別養護老人ホームは、更に開設をめざすのか。2老健やグループホームの展開等高齢者関連施設の計画は。健康福祉事業部長 129年度までに3施設を開設予定だ。2老健は30年度を目途に整備するほか、グループホームの整備も順次行う等多様なニーズに対応できるよう整備する。

財政政策について

1国家財政が窮すれば自治体へのしわ寄せが強くなると思うが、区への影響は。2今後の消費税引き上げの見通しと区の対応は。3プレミアム付商品券の発行にあたり、現状の商店街をどう分析し、1億円分の追加となったのか。企画部長 1補助金の交付等を通じて区財政へ影響を及ぼす可能性がある。2税率改定による地域経済への影響等を勘案し、的確な施策の展開が重要だと考える。3区内商業を取り巻く環境も依然厳しい状況にあることからだ。

品川区の組織改正について

1行政の効率的執行と区民に向けたわかりやすさの視点から、今後の組織のあり方は。企画部長 1施策を積極的に展開し、成果を上げるためには、組織の見直しも必要だ。



あくつ広王 議員 (公明)

地域包括ケアシステムの構築と強化について

1国は、地域包括ケアシステム構築の基礎調査として、日常生活圏域ニーズ調査の実施を促している。今後の区の高齢者調査では、ニーズ調査にあるような質問項目を設定し、生活圏域ごとに結果を分析する必要があるのでは。2介護保険法改正で、地域包括支援センターの業務も増していく。信頼できる民間居宅介護支援事業者と連携すること...

認知症対策について

1急増する認知症早期発見の大事な入り口であり、レスパイト機能や新たな地域コミュニティ創出の可能性を有する認知症カフェを地域支援事業に加え、できるだけ多くの地域に展開していくべきでは。2介護予防の新たなメニューとして、認知症予防の有効性が証明されている回想法事業の導入と、品川歴史館の所蔵品を活用した連携事業を提案するが、所見は。

健康福祉事業部長

1地域支援事業への位置づけも視野に、主催者の自発的な運営を支援し、認知症サポーターの活動の場としても活用していく。2高齢者が昔の生活用品に触れることで思い出がよみがえり、話が弾むなど認知症治療や介護予防に有効であるとの認識だ。品川歴史館と調整し、所蔵品の有効な活用方法を検討していく。

人口減少時代におけるシティプロモーションについて

1区は今年度新規にシティプロモーション事業を始めた。区のブランドイメージを高めるキャッチフレーズや、民間感覚を生かした戦略プランの

登場を期待するが、策定状況は。2民間の発想とトップの決断で、フィルム・コミッションや映画祭など品川区の新たな魅力創出に果敢に取り組みことを期待するが、所見は。区長 1区民アンケートや既に取り組んでいる自治体への取材などを行っている。更に、人の心を捉えるキャッチフレーズの作成や、実効性のある戦略プランを策定中だ。2区内には歴史的・文化的な資源や商店街など、数多くの魅力が存在しており、新たな魅力創出についても戦略プランの中で検討していく。

「オール・ブリュット」など障がい者の芸術活動の推進について

1オール・ブリュットとは、

「生の芸術」という意味のフランス語で、自身の内側から湧き上がる衝動のまま表現した絵画等の芸術を指す。芸術や障がいに対し深い考察の機会を与えるオール・ブリュット展を開催し、区民が鑑賞する機会を設けては。2障がい者の芸術活動を更に支援することが、障がい者が持つ感性芸術性を拓くと共に、新たな未来を開く可能性を秘めていると考えるが、所見を。

健康福祉事業部長

1平成21年にO美術館でオール・ブリュット展を開催し、来年1月には品川区民ギャラリーで開催予定だ。2区では、心身障害者福祉会館などで創作教室等が行われており、作品展発表の場として障害者作品展を開催している。今後も、障害者の芸術活動を支援していく。



ゆたか防災広場(豊町6丁目11番)